



# 最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2019年11月号

山形県最上総合支庁



## 新たな時代の最上ビジョンを描く

10月9日に「最上創生懇談会」を最上総合支庁で開催しました。この事業は昨年度から開催しており、今年度は「今後の最上の発展方向」をテーマに意見をいただき、最上地域の特性や今後の地域が目指す姿について、現在策定を進めている「第4次山形県総合発展計画（仮称）」に反映することを目的としています。

懇談会には、高校生を含め、様々な分野の10代から60代までの男女10名に出席していただきました。

出席者からは、「最上地域の人は、『この地域では何が有名か』と聞かれると、ずっと暮らしてきた大人でさえ『何も無い』と言う人が多い。もっと地域を知って誇りを持てるようになってもらいたい」「大学卒業後、社会人になった今こそ学びたいと思うことがたくさんある。社会人が学ぶことができる機会が必要なのではないか」などの意見が出されました。

### ○参加者

青木実央さん（新庄市）赤川健一さん（最上町）  
阿部秀幸さん（新庄市）阿部友香さん（新庄市）  
阿部良一さん（真室川町）井上洋一郎さん（新庄市）  
小嶋可那子さん（新庄市）工藤恵子さん（新庄市）  
八鍬真生さん（鮭川村）山田孝さん（最上町）



[連携支援室 29-1236]

左から 工藤恵子さん、阿部良一さん、青木実央さん

## 「ゲートウェイ型道の駅」整備に向け、具体的な議論を



10月18日、新庄市民プラザにて、第4回もがみ創生「北のゲートウェイプロジェクト」検討会が開催されました。今回の検討会では、前回までのご意見をもとに議論の中間まとめの形で整理した、構想のたたき台となる整備構想骨子案を示し、さらに具体化に向けた議論を進めることとなりました。

参加した委員からは「地元でリーダーシップをとれればと思っている」「機能の絞り込みや施設規模、設置場所などの議論に入るべき時期にきているのではないか」などの意見が出されました。

また、東北経済産業局地域経済部の遠藤憲子地域経済課長から、「地域未来投資促進法」の活用など、地域特産品の磨き上げや地域経済の活性化への取組み事例を紹介していただきました。

今後は、施設の整備や収益部門の運営に関する分科会を開催し、検討を進めてまいります。

[建設総務課 29-1391]



## ★新 県立新庄病院基本設計 ～令和5年度の開院に向けて～

### ● 患者用駐車場

現病院より200台分増え、駐車場不足が大きく改善されます。身体障がい者等用駐車スペースは、雨や積雪の影響を受けずにエントランスまでアプローチできるよう、屋根付きになります。

### ● 新たに加わる診療科目

緩和ケア内科、腫瘍内科、血液内科、精神科・心療内科、歯科、救急科、リハビリテーション科、腎臓・内分泌内科、総合診療科が新たに加わる予定で、より専門的に受診することができます。

### 新病院の外観イメージ



[保健企画課 29-1254]

## 商店街のテーマソングを作ろう!

10月19日  
最上のくらし舎

## 今月のジモト大学

11月10日  
とらいあ

新庄市にある万場町商店街はかつて「華の万場町」と言われ、その名のおり何でも揃うことから、大いに賑わっていたそうです。高校生はかつての賑わいや歴史を商店主から聞き取り、それを歌詞に落とし込みました。当日はお披露目会として近所の方もお招きして、高校生が歌で商店街を表現、涙ぐむ方もおりました。その歌はジモト大学Facebookでもご覧いただけますので、ぜひ力作をお聞きください!



ジモト大学  
Facebook

今月の一押しプログラムは、マイプロジェクトスタートアップキャンプ! 高校生が目の前の課題に気づいたとき、それを解決したいと考えたとき、小さなプロジェクト=マイプロジェクトがスタートします。一人では何から始めたら良いかわからない、不安がある、そんな高校生の背中を押してあげるプログラムです。



これは最初の一歩に過ぎません。その後、大人の伴走者とともにマイプロジェクトを進めていきます!

[連携支援室 29-1238]

## 高校生 × 女性若手社員 地元で働く女性のリアルなおはなし

将来的な地元就職につなげることを目的に、最上管内の高校生を対象とした、最上地域の輝くキャリアウーマンの皆さんから、仕事のこと、日常生活のこと、高校時代のことなど、「働く女性のリアル」をお聞きする講座「しごとーク〜若手女性従業員のリアルなおはなし〜」を県立新庄神室産業高校(9月20日)、県立新庄北高校(10月1日)で開催しました。

今の仕事を選んだ理由や休日の過ごし方、高校時代にしていただいた方が良いことなど、本音とエールを交えながらのお話は尽きることなく盛り上がっていました。

その後、高校生は、10年後のなりたい将来像とそのため今の自分にできることを考えるワークも行いました。

仕事もプライベートも充実して楽しんでいるセンパイ方との交流を通じて、地元就職の良さを改めて感じた生徒が多く、「将来の夢の幅が広がった」「今からたくさんの経験をして自分の力にしていきたい」など、嬉しい感想も多く聞かれました。

[地域産業経済課 29-1309]



シリーズ  
若者定着・人材確保に向けた取組み

## 将来はここ最上で農業経営をしよう!

10月16日に鮭川村立鮭川中学校で1、2年生を対象とした出張職業体験会「さけっこ Waku Waku Work」が開催されました。最上地域農業法人研究会の青年部員が参加し、鮭川村産ばらを使ったフラワーアレンジメントを体験しました。

また、いも煮を囲んで、最上地域の農業法人で生き活きと働く若者のことや、農業の魅力を語り合いました。

県では、人材確保・地元定着に向けた活動を支援してまいります。



[農業技術普及課 29-1326]

## 最上が誇るアスパラガスの産地拡大に向けて

最上地域は県内一のアスパラガス産地で、栽培者は年々増加しています。10月4日に大産地の最上町内の圃場で、次年度から栽培に取り組む方や経験が浅い方を対象とした研修会を開催しました。

アスパラガスの生理生態や年間を通じた作業体系の講習、そして研修会場を協力していただいた農家の方に収穫作業の実演をしていただきました。



参加者は自信を深め、次年作への期待を膨らませていました。

県では、農業技術のスキルアップを継続して支援してまいります。

[農業技術普及課 29-1333]

与蔵はあまりにのどが濁いて、谷の水をせき止めて沼を作って水を飲んでいるうちに、白い大蛇になってしまったんだって! この時にできた沼が与蔵沼と言われているそうだよ☆



## いじめ・非行のない社会づくりに向けて

10月27日、新庄市民プラザで「山形県青少年健全育成県民大会」が開催され、県内各地から青少年育成関係者約380名が参加しました。

大会は、新庄市立萩野学園6年生による「萩野鹿子踊り」のアトラクションで始まり、青少年健全育成に功労があった団体・個人への表彰が行われた後、「青少年は地域で見守り、育み、支援する」大切さを認識し、一丸となって県民運動に取り組むとした大会宣言が採択されました。その後、「いじめ・非行防止セミナー」として、少年の主張発表、活動事例発表、基調講演が行われ、いじめや非行のない社会づくりに、青少年育成関係者が一丸となって取り組む決意を新たにしました。

[子ども家庭支援課 29-1221]



## 親子で楽しくスポーツ！

10月12日、最上中央公園内のすぽーていあで、「～R1みんないっしょ～ 親子でスポーツ!!」が開催されました。最上地域みんなで子育て応援団が毎年秋に開催しており、親子43人が参加しました。小さなお子さんでも理解できる簡単なルールの運動遊びや、楽しい歌に合わせた体操、ヨガなどで楽しく体を動かしました。

最上地域みんなで子育て応援団では、今後も親子で楽しめる様々なイベントを企画していきます。みなさんのご参加をお待ちしています。



[子ども家庭支援課 29-1245]

## 子どもの育ちに大切なこと

10月21日、新庄市民プラザで、最上地域みんなで子育て応援団会員を対象に、「子育て支援者向け研修会」が開催されました。東北文教大学の山王堂恵偉子先生を講師にお迎えし、「子どもが育つ、親も育つ、子育ての不思議」をテーマとした講演を行い、39名が参加しました。講演では「子ども自身が工夫し、考えられる環境が大事。支援者は親に寄り添い、悩みを吐ける相手になって」との講話がありました。応援団や会員一人ひとりの今後の活動に活かしていただきたいと思います。

[子ども家庭支援課 29-1221]



## “自分”を発信しよう！

10月20日、新庄市のアトリエ・山形現代美術館において、「第3回ライフキャリアアップセミナー Mogajo Cafe」が開催されました。最終回となる今回は「セルフブランディング “自分”を発信しよう」のテーマで、8人が参加し、自分の価値や魅力を発見し、発信していく方法を学びました。和やかな雰囲気の中で、参加者同士の交流が図られ、参加者の今後の活躍に役立つことに期待しています。

[子ども家庭支援課 29-1245]



## 動物愛護について考えよう

10月5日、最上地区動物愛護センターにおいて、「親子動物愛護教室」を開催しました。当日は、親子で災害救助犬の紙芝居を見たり、猫に触れたりしながら、動物愛護について学びました。参加した親子からは、「初めて猫と触れ合えた」といった感想が聞かれ、動物と触れ合い、動物を愛護することについて考える機会となりました。

県では、今後もこのような、動物と触れ合える教室を開催し、動物愛護に取り組んでまいります。



[生活衛生室 29-1260]



## 成婚に結びつける秘訣とは

9月30日、最上総合支庁講堂で「最上地域結婚支援者のための交流セミナー」を開催しました。管内で結婚支援に取り組む方々の連携を図ることを目的に初めて開催したものです。

ボランティアで仲人活動を行う「やまがた縁結びたい」の工藤馨さんを講師とし、成婚のコツについて学ぶとともに、活動の悩みについて情報交換を行いました。工藤さんからは「価値観や趣味は違って当然、お互いに認め、尊重し合うことが大切」などの話がありました。

県では、今後も成婚を望む方への支援に取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1245]



# 美しい森への感謝と恩返し

最上地域の豊かな自然に感謝し、「県民参加の森づくり」を一層推進するためのイベント「最上地域森の感謝祭2019」が、10月5日、舟形町の舟形若あゆ温泉ふれあい広場を会場に、約250名が参加して開催されました。

今回のテーマは舟形町立舟形小学校での公募の中から選ばれた「歩みだそう 美しい森への第一歩」です。当日は舟形町幅地区に伝わる「幅神楽」の上演で開幕し、森づくりリレー旗の伝達等の後、代表者10名が緑の少年団の介添えを受けながらオオヤマザクラの記念植樹を行いました。式典後、来場者に新庄神室産業高校で育てられたミニクラメンや舟形町の木「コブシ」の苗がプレゼントされました。

感謝祭当日と翌6日には、秋田県由利本荘市の「鳥海山 木のおもちゃ美術館」の協力を得て、県内初となる木のおもちゃの出張展示を行い、子どもたちはもとより大人にも大変好評でした。



[森づくり推進室 29-1348]

## お し ら せ

**同時開催!!**

### 「秋の最上伝統野菜フェア」 & 「もがみうまいものフェア」

“もがみの味覚”を食べ歩こう!

期間：11月13日(水)  
～12月8日(日)

参加店舗：管内飲食店、旅館、  
産直施設等

詳細はコチラ



[農業振興課 29-1316]

### 第18回「最上を拓く高規格 道路」建設促進合同大会

日時：11月26日(火)13:30～15:30

場所：新庄市民文化会館

- 基調講演 川瀧 弘之氏  
(日本みち研究所専務理事)  
「4つの大潮流とこれからの  
インフラ整備」
- 意見発表 地域の方3名

入場無料

[建設総務課 29-1391]

### 山形新幹線新庄延伸20周年 記念シンポジウム

日時：12月7日(土)14:00～

場所：大地会館

基調講演、若者によるパネルディス  
カッションで、山形新幹線のこれまで  
を振り返り、これからを考えます。



入場無料、要事前申込

[連携支援室 29-1239]

### 一歩<sup>2</sup>フェスタ2019 ～明るく元気に! みんなで楽しく一歩一歩～

今年も障がいを持つ方と地域の方との交流の場を広げるイベントを開催します。ご来場をお待ちしております!

日時：12月1日(日)10:00～15:00

場所：ゆめりあ 花と緑の交流広場

- ステージ発表、作品展示、製品販売 ほか

入場無料

[地域保健福祉課 29-1277]

### 「最上の地域医療を考える 住民のつどい」

最上地域の医療について、少子高齢化が進み、医師不足の状況が続く中、私たちにできることを一緒に考えてみませんか?

日時：11月21日(木)13:30～15:30

場所：新庄市民プラザ 大ホール

- 講演 針生 光博先生  
(県立新庄病院)

「健康寿命とロコモティブ  
シンドロームについて」

入場無料

[保健企画課 29-1257]

### むし歯サミット in 新庄2019

日時：11月16日(土)13:00～15:15

場所：新庄市市民プラザ大ホール

- 第1部歯の長寿者表彰 8020
- 第2部講演会 石川 恵生氏  
(山形大学医学部 助教)

「口の中にもガンはできる？」

～セルフチェックで

早期発見を～



入場無料

[地域保健福祉課 29-1267]

**募集中**

第4回最上小国川写真コンテスト

11月30日まで

Check!!



最上総合支庁では、台風19号の災害義援金の募金箱を1階総合案内窓口前に設置しています。募金のご協力をよろしくお願いいたします。(11月15日まで)

発行日：令和元年11月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

鮭川村の与蔵沼。与蔵という人がある生き物になってしまった伝説があるよ。何の生き物かな？エコポリス通信の中の答えを探してみてね!

